（様式2）

令和　3　年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1590500193		
法人名	社会福祉法人　柏崎刈羽福祉事業協会		
事業所名	グループホームまつみ（2ユニット共通）		
所在地	新潟県柏崎市松美1丁目5番10号		
自己評価作成日	令和3年9月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590500193-00&ServiceCd=320&Type=search

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2－2－2
訪問調査日	令和3年10月19日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

・平成27年3月に開所した事業所で、併設する小規模多機能事業所と連携体制を取っています。閑静な住宅街の中に立地し、家庭的な雰囲気づくりや地域の方とのふれ合いを大切にしており、地域住民の一員として生活して頂けるよう努力しています。地元のコミュニティーセンターや地域の集会場も徒歩圏内であり、地域の行事に積極的に参加させていただいています。また、地域交流ホールやポケットパークを整備し、地域の方に気軽に立ち寄って頂ける施設を目指しています。
・毎月の行事や花壇、畑の様子などを通じて四季を感じて頂けるよう努めています。また日々の生活の中で役割を持って頂き、グループホームに入所したからと言って自分の思いやしてみたい事を諦めるのではなく、その人らしい楽しみや生きがいを持って過ごしていただけるように努力しています。
・生き物が好きな利用者様も生活されている為、当施設でもアクアリウム・アニマルセラピー等を行い居心地の良い生活空間の提供に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

〇地域に根差した事業所運営と心穏やかに過ごせる生活環境

事業所は木造平屋建ての小規模多機能事業所と併設する2ユニットの開設7年目を迎えた。事業所名やユニット名は、住民公募から地域にゆかりある名称が付けられ、広い敷地内にあるポケットパークは小学生の登校や廃品回収時の集合場所に使われている。地域の住みよい街づくりの一環として、地域の避難場所に指定されており、避難訓練や清掃活動等を積極的に担っている。敷地周りの花壇の手入れは地域の方々の協力で綺麗に整備され、地域住民の共有財産として穏やかで安心した生活を支えている。施設内外の交流スペースや会議室は近隣の方々が気軽に立ち寄れる場所となっており、小さなアクアリウムがもてなしてくれている。ポケットパークには住民の声から郵便ポストが設置され、近隣住民との極自然なふれあいや親交が図られている。心地よく生活するための環境づくりを管理者や職員の努力と協力で地域に溶け込んだ役割をしっかりと担っている。今後も地域に根差した活動や展開が、より一層期待される事業所である。

〇『自分らしい生活』を尊重した支援と良好なチーム力

職員は利用者一人ひとりの自分らしさを大切と捉え、個々の持てる力を把握するため「私の気持ちシート」を活用し、利用者の望む生活スタイルを受け止めながら、話し合いの中で毎年作成している。暮らしの中では、個々の力を発揮できるよう掃除や片付け等の場面づくりや畑で一緒に収穫した旬の野菜が食卓の一品となるなど、個別支援を大切にしている。利用者の尊厳を保つため、必要時は「24時間シート」で排泄の状態を把握し、自立に向けた意見やアイデアを出し合い、質の高いチームケアを介護リーダーを中心に取り組んでいる。毎月開催の職員会議では個々のケアについての話し合いが行われ、尊厳を傷つけやすい言葉かけの振り返りや夜間のセンサーマットの継続使用について、常に見直しの検討を図っている。また、利用者の希望に沿った墓参りやドライブ等の個別の外出支援や日常の極わずかな時間でも、近隣の桜や鯉のぼり等を見学に外出するなど、暮らし中の楽しみや喜びが健康維持へと繋がるよう支援している。心穏やかな生活をまごころ込め、地域とともにその人らしく暮らし続けるための支援に取り組んでいる。